



平成29年10月18日

各位

上場会社名 京都きもの友禅株式会社
 代表者 代表取締役社長 服部 雅親
 (コード番号 7615)
 問合せ先責任者 経営企画部長 白岩 正樹
 (TEL 03-3639-9191)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年4月27日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,561	462	501	326	27.30
今回修正予想(B)	5,506	127	178	105	8.81
増減額(B-A)	△1,055	△335	△323	△221	
増減率(%)	△16.1	△72.5	△64.5	△67.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	6,877	643	707	471	39.48

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,691	704	782	508	42.54
今回修正予想(B)	11,183	40	129	70	5.90
増減額(B-A)	△1,508	△665	△653	△438	
増減率(%)	△11.9	△94.3	△83.4	△86.1	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	12,130	625	762	450	37.69

修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間

和装関連事業において、「振袖」販売及びレンタルについては、来店者数が減少傾向で推移いたしました。また「一般呉服」等の販売についても、集客面での苦戦が続いたため、受注高は当初計画を下回る見込みであります。費用面においては、広告宣伝費・販売促進費を中心として、諸経費全般の削減に努めてまいりましたが、上述のとおり受注高が計画比未達となったことにより、販売費及び一般管理費の対売上高比としては当初計画よりも悪化する見込みであります。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については、いずれも当初計画を下回る見込みであります。

(2) 通期

下期につきましては、「振袖」および「一般呉服」等の双方の増加回復に努め、受注高および原価・経費については、当初の下期計画に準じた数値を計画しております。

しかしながら、上期末における商品受注残高が当初計画に対し約5億円減少していることから、下期の売上高(出荷高)については、当初の計画を下回る見込みであります。

これらの結果、通期の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、いずれも当初計画を下回る見込みであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成29年4月27日発表)	—	12.00	—	30.00	42.00
今回修正予想	—	12.00	—	12.00	24.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成29年3月期)	—	12.00	—	30.00	42.00

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する配当政策を経営の重要課題の一つと位置づけており、安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

このような方針のもと、本日発表の通期業績予想修正および財務状況等を総合的に勘案した結果、当期の配当予想につきましては、誠に遺憾ではございますが、期末配当予想を当初予想30円から18円減配の1株当たり12円とさせていただきます。これにより、当期における年間配当金は、中間配当金12円を含め、1株当たり24円となる予定であります。

(注)上記の業績予想等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上